

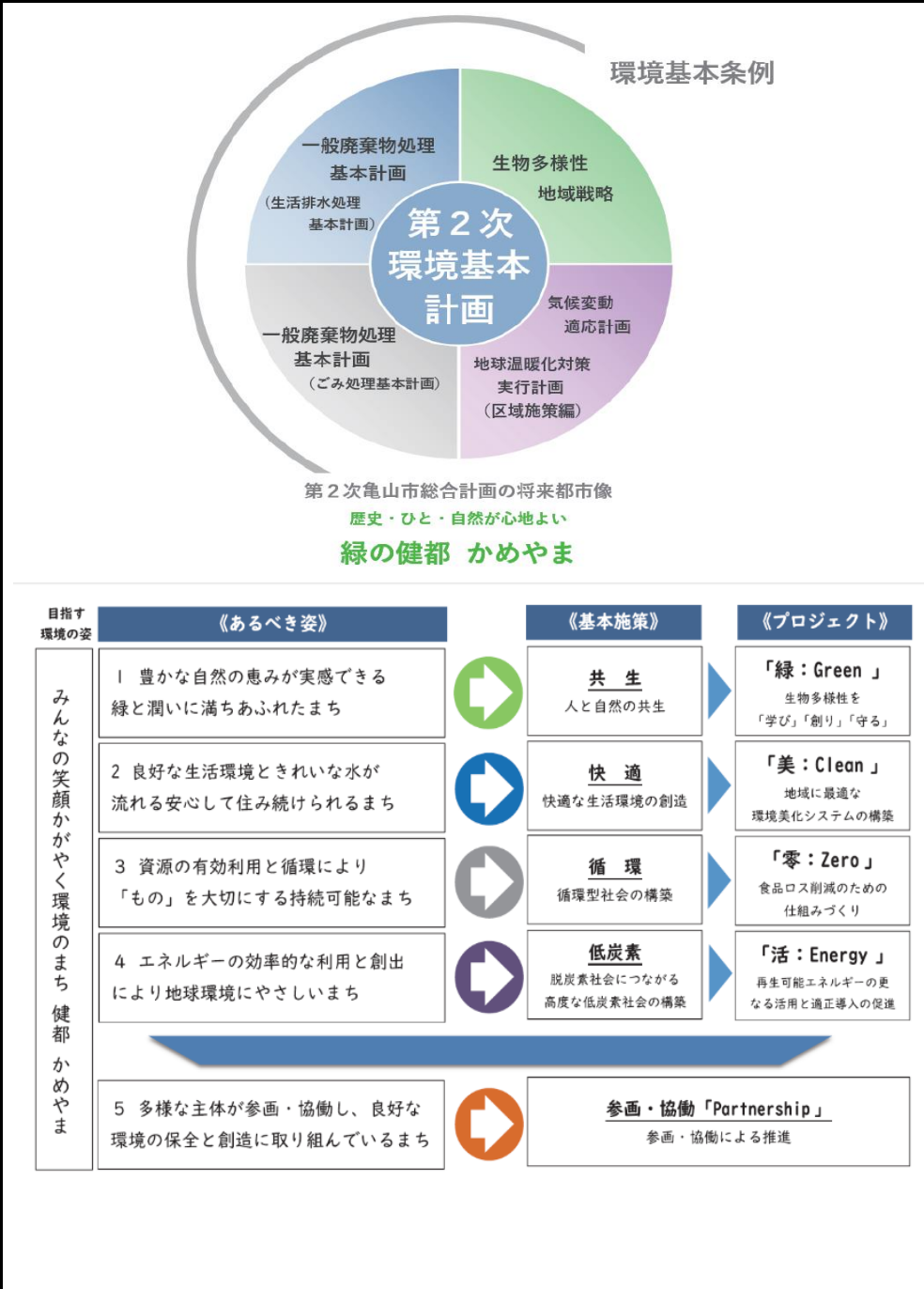
第2次亀山市環境基本計画に関する実績等報告書(令和4年度)

(産業環境部 環境課)

■計画の基本情報

計画期間	R 3 ~ R 12 年度
位置付け	本計画は、亀山市環境基本条例第8条第1項の規定に基づき市町村計画として策定したものであり、本市の環境分野における基本計画として位置付けている。また、第2次亀山市総合計画後期基本計画との関連は、基本施策「脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進と循環型社会の構築」と深く関わるものである。
目的・概要	本市の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の健康で安全かつ快適な生活の確保と福祉の向上に寄与することを目的とする。 本市が目指す10年後の環境の姿として「みんなの笑顔かがやく環境のまち 健都 かめやま」を掲げ、5つの基本施策や4つのプロジェクトにより具現化を図る。

計画の骨格



■ 成果指標

成果指標名		単位	現状値	実績値 (R4)	目標値
1	別紙のとおり				
2					
3					
4					

■ 計画の実績等

取組実績	<p>市民に自然と触れ合う機会や学習する機会を提供するため、里山塾、ザリガニ釣り大会、亀山7座トレイル(登山講座)等のイベントを開催した。市内の主要事業所、河川、ため池において、水質検査、騒音・振動測定を行うとともに、公共下水道事業の推進により、生活排水処理施設の整備を行った。生ごみ排出抑制の新たな取り組みとして「生ごみ消滅処理容器・キエーロ」の普及、食品ロス削減マッチングアプリ「かめやまタベスケ」の導入など、ごみの排出抑制の普及、啓発に取り組むとともに小型充電式電池等の分別収集を試行実施するなど、4Rの推進に積極的に取り組んだ。地球温暖化防止につながる『緑のカーテン運動』に取り組むため、ヘチマのポット苗を市民及び公共施設の管理者に配布した。</p> <p>当該計画の推進を図るにあたり、市民、事業者及び関係団体等から幅広い意見を反映するため、環境未来創造会議及び基本施策ごとの部会を開催した。</p>
成果	<p>自然環境に関するイベントを開催したことにより、生物多様性に関する周知・啓発に貢献できた。新たに市内に立地した事業所などと環境保全協定を締結するとともに、市内の主要事業所、河川、ため池において、水質検査、騒音・振動測定を行わない監視することにより鈴鹿川の良好な水質が維持できた。自然環境生活排水処理率が、公共下水道事業井田川・能褒野処理分区など5処理分区の供用開始により、大幅に向上した。ごみ減量化の取り組みにより1人1日あたりのごみ排出量は前年と比較し減少したが、リサイクル率は低下した。</p> <p>そして、第2次市環境基本計画を推進するための会議及び部会を開催したことにより、当該計画の推進体制が確立できた。</p>
総合計画推進への寄与度	<p>里山管理運営協議会等と連携し、自然公園を活用して市民に自然と触れ合う機会等の提供をしたものの、新型コロナウイルスの影響によりイベント等参加人数は激減した。ごみ排出量は前年度比較で17ポイント減の928g/人・日となり、リサイクル率については3.1ポイント低下し28.4%であったが、新たなごみ減量、再資源化の取り組みを行ったことで総合計画推進に寄与した。</p>

反省点・課題	<p>新型コロナウイルスの影響もあるが、自然環境イベントや環境に関する講座等への参加人数が減少した。更なるごみ排出量削減、4Rの推進のための取り組みが必要である。</p>
--------	---

今後の方向性	<p>環境イベントや講座への参加人数の増加を図るための周知・啓発に努める。また、幼稚園、保育園や学校等に環境関連イベントへの参加を呼び掛ける。更なるごみ排出量の削減、4Rの推進には、排出者の意識の変化が重要であることから、多様な視点や発想、ごみダイエットサポーターとの連携による新たな取り組みの検討を行うとともに一般廃棄物処理基本計画の施策に着実に取り組む。</p>
--------	---

■成果指標

現状値及び目標値 … 第2次亀山市環境基本計画(2021～2030) 各基本施策成果指標参照

成果指標名		単位	現状値	実績値 (令和4年度)	目標値
1	自然環境に関するイベント等に参加した人数等	人	8,563	7,105	9,500
2	外来生物の駆除に取り組む市民活動団体数	団体	3	2	8
3	間伐面積(平均)	ha	183	126	200
4	環境美化ボランティア登録団体数	団体	31	39	40
5	環境保全協定の締結数	件	77	85	100
6	生活排水処理率	%	81.4	83.3	92.1
7	1人1日あたりのごみ排出量	g/人・日	943	928	880
8	ごみの資源化率	%	30.8	28.4	38.0
9	溶融飛灰の資源化率	%	100	100	100
10	市域における二酸化炭素排出量	(千t-CO2)	1,322	1,345 (令和3年度)	1,156
11	再生可能エネルギー発電施設の導入件数	件	2,662	3,092 (令和3年度)	3,500
12	環境に関する講座等への参加人数	人	3,184	1,941	3,500
13	環境関連分野において連携・協働による取組を行っている団体(組織)数	団体(組織)	13	21	20